「優勝するチームつくる」

中日・落合GM就任会見

谷繁新監督をバックアップ

中日のゼネラルマネジャー（GM）に就任した元監督の落合博満氏(59)が11日、名古屋市内で記者会見し「優勝するチームをつくらないとやる意味がない。谷繁新監督をどうやってバックアップするか。何とか一肌脱いで手伝えということで、お受けすることになった」と抱負を話した。

この日は約7時間にわたり今後の方針について球団幹部と話し合った。後日に正式な契約を結ぶという。来季から選手兼任監督として指揮を執る谷繁元信捕手(42)については「（契約は）最低4年と考えている」と明かした。

球団は今季セ・リーグ4位と低迷したチームの立て直しや新監督へのサポートを充実させるため初のGM職を設置した。落合GMは、コーチ陣や戦力補強については「これから社長とじっくり話したい」と話すにとどまった。

落合GMは2004年から11年まで中日の監督を務め、4度のリーグ制覇と、1度の日本一に導いた。その手腕を買われ、白井文吾オーナーからGM就任を要請された。

落合　博満氏（おちあい・ひろみつ）秋田工高、東洋大（中退）と進み、社会人の東芝府中から79年にロッテに入団。82、85、86年に三冠王に輝いた。87年に中日、94年に巨人に移籍。97年から日本ハムでプレーし、98年を最後に引退。最優秀選手（MVP）を2度受賞し、首位打者、本塁打王、打点王を各5度獲得した。04年から8年間、中日監督を務め、4度のセ・リーグ優勝。07年はリーグ2位からクライマックスシリーズを勝ち抜き、53年ぶりの日本一に導いた。11年に野球殿堂入り。男鹿市出身。59歳。

戦力整備、全て私の責任

中日のゼネラルマネジャー（GM）に就任した落合氏は静かな口調で思いを語った。

◇　◇

―いまの気持ちは。

「いいものはいい、悪いものは悪いと方向性を間違わないように進めていきたい。この仕事を引き受ける以上は戦力をつくれなければ、全て私のところに責任がある」

―谷繁新監督へばどんなサポートを。

「最初の2年間は谷繁が野村(克也)さんの出場記録（通算3017試合）を破るまでは補佐していこうという気持ち。3年目になれば監督自らどういう組織をつくって、どういう野球をしたいか打ち出される」

―監督復帰の話はあったか。

「その話が来たとしても受けない。谷繁をバックアップできる人間がいる。相当の覚悟をして、野球の知識があって、防波堤になれる人間は野球界にそういるわけじゃない」

―この2年間の中日を見た印象は。

「ほとんど野球は見ていない。邪魔しないようにしてきた。どうやったら強くなるというのを考えて出した結論は、練習しないと選手はうまくならないということ。その基本線がこの2年間はあったのか」

―目標は。

「優勝するチームをつくらないとやる意味がない。勝負事はそういうこと。それをしなかったら野球選手は野球をやっちゃいけないんじゃないですか。全部優勝したいと思ってやるわけ」

就任の記者会見で、笑顔を見せる中日の落合博満GM＝11日、名古屋市中区

一問一答

中日 常勝軍団復活へ（下）

落合氏、権限どこまで

球団初のGM職

8年間で4度のセ・リーグ優勝。中日の監督として〝黄金期〟を築いた落合博満氏がゼネラルマネジャー（GM）として戻ってきた。球団史上初のGM職を引き受けて常勝軍団復活を図る。

落合GMは2年前、球団初のリーグ連覇を果たしながら人気低迷などを理由に監督の契約を更新されなかった。今回の復帰劇は、全幅の信頼を置く白井文吾オーナーの強い希望だ。

注目されるのはGMの権限だ。白井オーナーは「ゲームの責任者」と表し、チーム編成のみならず谷繁新監督が率いるチームの戦術面での関与も含めて全権を委ねる考えを示している。一方で落合GMは「役割分担はこれから」と詳細を明言せず「表にはほとんど出ない。谷繁率いるドラゴンズを前面に出す」と話す。野村克也氏が持つ通算3017試合の最多出場記録まであと117試合に迫る新監督の記録更新に向け、あくまでも「バックアップ」であることを強調する。

今季は本拠地ナゴヤドームが開場した1997年以降初めて主催試合の観客動員数が200万人を突破できなかった。さらに資金難などグラウンドの外でも課題は山積する。「とにかく自分のできることを」と気合を入れる谷繁新監督と、「監督以上に責任は重い」と意気込む落合GM。中日の再起を託された師弟はどんな相乗効果を生み出すのか。

記者会見に臨む中日の落合博満GM（左）。右は佐々木崇夫球団社長＝11日、名古屋市中区

大リーグ

ア優勝決定シリーズ タイガースが3年連続進出

【オークランド共同】米大リーグは10日、オークランドでプレーオフのア・リーグ地区シリーズ（5回戦制）第5戦を行い、タイガース（中地区）が3―0でアスレチックス（西地区）に勝ち、3勝2敗で3年連続となるリーグ優勝決定シリーズ進出を決めた。ア・リーグ優勝決定シリーズでは上原、田沢のレッドソックス（東地区）と対戦する。

タイガースは四回にカブレラの2点本塁打で先制し、六回にも加点。先発バーランダーは、七回2死まで無安打無得点で、8回2安打無失点、10三振と好投した。

ナ・リーグ優勝決定シリーズは11日（日本時間12日）に始まり、カージナルス（中地区）とドジャース（西地区）が対戦する。

10日の結果

▽ア・リーグ
タイガース 3―0 アスレチックス

アスレチックス、また涙

○…アスレチックスは、バーランダーから1点も奪えず敗れ、2年連続での地区シリーズ敗退となった。速球中心の力強い投球にねじ伏せられ、ようやく出た初安打も七回2死から。メルビン監督は「あれだけ速球を投げたのに打てなかったのには驚いた。うちは速球に強いチームなのに」と首をひねった。

ただ、若手の多いチームは伸びしろを感じさせた。指揮官は「もう少し先に進みたかったが、とても良いシーズンを過ごせた」と、無念さの中にも満足感をのぞかせた。（オークランド共同）

Rソックスは地元で調整

○…レッドソックスは12日

米大リーグプレーオフ

ワールドシリーズ 23日～ 7回戦制

ア・リーグ（2013 ALDS）

12日～ 7回戦制

2-3☆ 1-0☆ 6-3☆ 6-8☆ 0-3☆ アスレチックス（西地区1位）

タイガース（中地区1位）

☆12-2 ☆7-4 4-5☆ ☆3-1 レッドソックス（東地区1位）

0-4 インディアンス（中地区2位）

レイズ（東地区2位）

ワイルドカードゲーム

ナ・リーグ（2013 NLDS）

11日～ 7回戦制

☆は勝ち数

☆1-9 ☆7-1 ☆5-3 1-2☆ 1-6☆ カージナルス（中地区1位）

☆6-1 3-4☆ ☆13-6 ☆4-3 ドジャース（西地区1位）

2-6 レッズ（中地区3位）

パイレーツ（中地区2位）

ブレーブス（東地区1位）

地区シリーズ 5回戦制（日付は現地時間）

リーグ優勝決定シリーズ

米大リーグ、ア・リーグ優勝決定シリーズ（7回戦制）のレッドソックス（東地区）―タイガース（中地区）は12日（日本時間13日）から始まる。両チームとも投打のバランスが取れているが、レッドソックスが上原、田沢を軸とする救援投手が石で、接戦に持ち込めば優勢だ。

レッドソックスの打線はタイガースとの地区シリーズの試合で26得点をたたき出した。1番のエルズベリーかビクトリノ、ペドロイア、ルティスとよくつながる。ポリの不振だけが気がかり。

開幕のア・リーグ優勝決定シリーズに向けてウェイ・パー

セ 第1S初戦の見どころ パ

前田健の先発が確実な　11勝5敗の西武・岸

プロ野球のセ、パ両リーグが開幕する。セは中日と甲子園で対戦し、武ドームに移して戦で投げ合い

広 × 阪

「もう一度」第1S突

阪神の和田監に予定より30ッテリ。ングが長引た。就任2年目初めて挑むCSを期し「もうしたい」と球ルステージ進だ。